

※実務経験のある教員による授業科目：単位数 2

授業概要

本講義では企業組織を中心に、組織それぞれの存在目的を果たし、理念を体現し、ビジョンを達成するため、組織の中で働く人々を刺激し、組織全体を活性化し、業績を向上させるマネジメントについて学ぶことが目的である。そのため、まず経営学の古典的な組織理論からじっくりと学ぶことで、組織において人にまつわって起こる現象を理解してもらうことに主眼を置く。そして社会保険労務士としての企業の経営・労務管理のコンサルタント経験から、これらの知見が労働・雇用を巡る環境の変化が激しい現代において、採用から退職に至るまでの企業内での人事や労務管理の側面にどのように生かされているのかという観点で講義していく。

授業計画

第 1 回	イントロダクション
第 2 回	産業心理学前史
第 3 回	人間関係論
第 4 回	モチベーション論の基礎
第 5 回	モチベーション論の応用
第 6 回	組織的公正
第 7 回	前半小括
第 8 回	リーダーシップ論の基礎
第 9 回	リーダーシップ論の応用
第 10 回	リーダーシップ論の発展 1
第 11 回	リーダーシップ論の発展 2
第 12 回	個人の意思決定
第 13 回	組織の意思決定
第 14 回	組織のオペレーションと安全
第 15 回	組織と個人のキャリア
第 16 回	筆記試験

到達目標

組織はさまざまな背景や性格を持つ人々で構成され、現場の第一線、中間管理職、経営者といったように多様な立場の複合体である。組織内で働く人々それぞれの「心の動き」に焦点を当て、その動きの「要因」を正しく理解し、将来における組織人として他者にポジティブな影響を及ぼす主体として、また社会人としてより良い発達をとげる個となることができる。

履修上の注意

半期だけの講義であるため、講義内容が濃くなることが懸念される。また、授業の進行状況や時事的な話題提供等により、シラバスで示す内容から変動がありうる。特に初回のイントロダクションでこの講義のコアを説明するので、受講していないと以後の講義の意味が理解できなくなるので受講必須。

予習・復習

指定するテキストの分量は少ないので一読して臨むこと。アルバイトや趣味的活動といった日常生活にも組織的な活動は存在するため、常に問題意識を持ち、プロアクティブに情報を収集し、自分の考えを自分の言葉でまとめていく姿勢を期待する。

評価方法

授業毎の理解度の確認と出席確認を兼ねたミニテスト、レポート 50%
期末テスト 50%

テキスト

- ・教科書名：『マネジメントの心理学（第 2 版）』
- ・著者名：中西 晶
- ・出版社名：日科技連出版社
- ・出版年 (ISBN)：2014 年 (4817195185 ; 978-4817195180)